

チャレンジパラスポーツ教室



障害の有無や年齢に関係なく みんなでスポーツを楽しもう

市障害者スポーツ協会の主催で開催され、障害のある人約70人と介助者が参加しました。障害の有無や年齢に関係なく誰でも楽しめるユニバーサルスポーツのスカットボール、ポッチャ、サウンドテーブルテニスなど5種類のスポーツを体験してもらいイベントで、参加者は思い思いのコーナーでスポーツを体験しながら交流を楽しんでいました。

2月18日 | 市民体育館

ふれあいもりやま展



ポスター、漫画など5部門 入選以上の233点を一堂に展示

身の回りにあるさまざまな人権問題をテーマにした作文、詩、ポスター、四コマ漫画、標語の部門で、1,886点の作品が出品され、このうち、入選以上の233点を一堂に展示した展覧会が開催されました。会場を訪れた約650人の市民は、一つ一つの作品を丁寧に観賞するとともに、子どもたちの素直な作品に人権意識を高めていました。

2月16日～22日 | 市民ホール 展示室

令和4年度 市民参加と協働のまちづくりフォーラム



「気づき」から「絆」へ ～始まりは、はじめの一步から～

「『気づき』から『絆』へ」をテーマに開催されました。市民提案型まちづくり支援事業に採択された2団体による活動事例発表や、大阪市西成区で子ども食堂を運営する川辺 康子さんの講演がありました。いずれも子どもの居場所や学びの場づくりをテーマとしたもので、誰一人取り残されることのないまちづくりについて考える機会になりました。

2月26日 | 市民交流センター(さんさん守山) 多目的ホール

赤野井湾・小津袋クリーン大作戦



琵琶湖の浮遊ごみや漂着ごみ 漁師や地元住民が回収に汗

認定NPO法人びわこ豊穰の郷の主催で行われ、玉津小津漁業協同組合や小津・玉津学区の自治会など、市内外から約60人が参加しました。今回は、漁船7隻が湖上から浮遊ごみ、湖岸沿いで漂着ごみなどを回収しました。回収されたタイヤやペットボトルなどに、参加した小学生は「ごみの多さにびっくりした」と感想を話していました。

2月21日 | 赤野井湾



守山市の人口

令和5年2月28日現在
(前月比)

人口	85,662 (+ 21)
男	42,104 (- 4)
女	43,558 (+ 25)
世帯数	34,498 (+ 13)



「暖かい春の日がまぶしく感じられる今日、卒業式」と、卒業生たちと声を合わせたのは、もう二十数年ぶり。今年ももうそんなシーズンである。JPOPでは卒業と始まりが一緒で歌われることが多いが、私も近々あることを卒業予定である。それは、「天」を卒業して「父親」になることだ。あわせて、育児休業を取得させていたたく予定である(感謝)▼世間でも男性の育児参加が積極的になっており、漫画「ドラゴンボール」では、当初地球を滅ぼしに来たベジータでさえ、最近は妻子を愛する父親として描かれている。これには時代の変化を感じざるを得ない▼そういうわけでは、私は悟空のように地球を守ることはできないが、家族は守れる男になるため「精神と時の部屋(育児休業)」で修業する所存だ。ただしその代償に、職員としての戦闘能力はリセットされるだろう。やむなしやむなし。(ちーさん)